

2025年10月22日

YACかわら版633

ジブラルタル海峡の大波-2

今週の日曜日、JAXA筑波宇宙センターでのJAXA/YAC宇宙教育指導者セミナーに参加しました。その中で講師の方がジブラルタル海峡の「大波」をセンチネル1が観測した画像を紹介されました。「大波」はセンチネル2の画像を使ってYACかわら版で紹介しています。①

「ねえ君 ふしぎだと思いませんか」と高知の図書館等複合施設「オーテピア」前の寺田虎彦像の台座に書かれています。

<https://www.yac-j.com/wp-content/uploads/2022/11/yackawaraban20220601.pdf>

ジブラルタル海峡は、大西洋から地中海へ流れる表層流と、地中海から大西洋へ流れる深層流の2層構造が有名です。大西洋と地中海の塩分濃度の違いが原因と言われています。

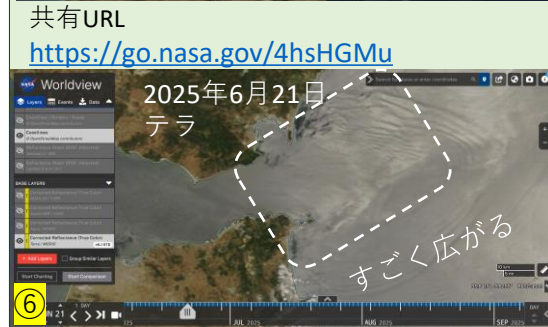
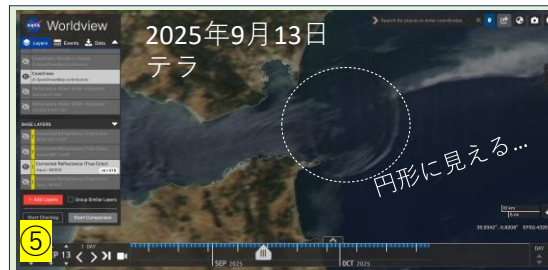
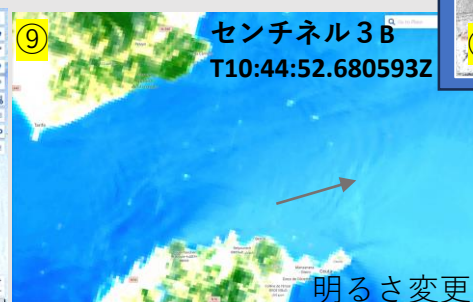
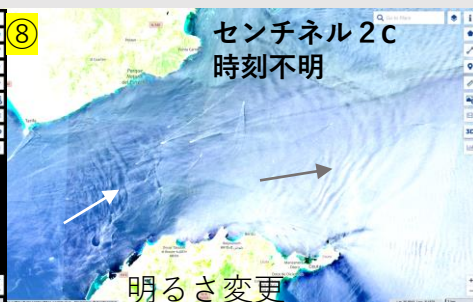
コペルニクスブラウザで調べてみると、「大波」が確認できる観測データが多いのにおどろきました。全天候で観測できるSARデータの持ち味です。「大波」もさることながら航行している船舶数に驚きます。②③④

NASAのテラ(Terra)とアクア(Aqua)の観測データをワールドビューでも探ってみました。⑤⑥

衛星の空間分解能はバンド1と2は250m、3～7は500mです。ワールドビューではNOAA-20、ランドサット8-9HLS等も利用できます。

2025年6月26日には、3つのセンチネル衛星が観測しています。大波の見える位置は移動しています。⑦⑧⑨

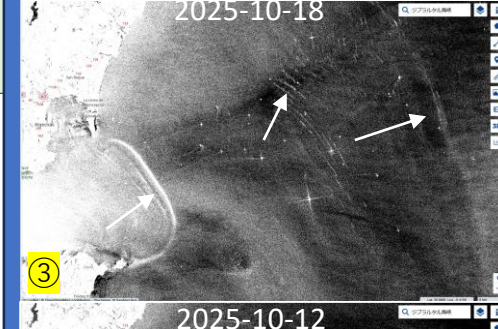
2025年6月26日



共有URL
<https://go.nasa.gov/4hsHGMu>

共有URL
<https://go.nasa.gov/4oCApvX>

時間差がない複数の衛星画像が利用できれば、「大波」の移動の様子も推察できそうです。出発点は①～⑨の衛星データからの「ふしぎ」です。ジブラルタル海峡はヨーロッパから中東・アジアへの重要な海路に位置しています。いくつかの衛星の観測時刻は確認できます。通過する船舶の位置情報と結びつけると、次の「ふしぎ」が生まれるでしょう。



2025-06-26 18:00 UTC

35.99° N, 5.45° W ×
海流 | 80° @ 0.65 m/s
有義波高 | 0.45 m

©earth.nullschool.net